

科目分類	豊かな人間性を育む分野			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
61002	1	前期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	哲学と宗教 (Philosophy and Religion)				
担当教員名	天野 雅郎				
授業の概要及び到達目標					
本授業では、世界の伝統的な宗教に内在する思想を知り、人々が「信仰」を通してどのような思想や価値観、文化を形成してきたかを知る。また、歴史的観点から宗教と社会との関係を概観し、宗教が国や社会に与える影響などについて考える。さらに日々の生活の中にある宗教的現象を探し、日本人の倫理や道徳を支える宗教性に目を向けさせたい。また医療・看護に携わる者は、深く人間の存在を考え、死生観に触れる機会がある。人間が悩みや苦しみをもちながら生きるということがどのようなことであるのか考える授業とする。					
準 備 学 習 等					
この授業では、これまで日本人が伝統(tradition＝引き渡し)的に、どのような配慮と留意一すなわち、ケア(care)の心をもって、みずからの自然(nature)と向き合い、その人間性(human nature)を育んできたのかを、今も日本人の中に息づいている、哲学や宗教や、広く「日本文化」を通じて振り返り、それが21世紀を生きる、現在の皆さんにも必要不可欠な「つつしみ」(relogio→religion)の態度であることを、知って貰うために開講されます。開講期間は半期ですが、この授業を通じて皆さんは、いわゆる「春夏秋冬」の一年に亘る、日本人の季節感や人生観を知り、これを慈しむ心(philosophia→philosophy)を身に付けることが可能ではなかろうか、と願っています。したがって、この授業自体よりも、むしろ、その前後の時間と、皆さん自身の日常生活や、その経験の中にこそ、皆さんの学習の機会は開かれていることを、あえて申し添えさせていただきます。					
成績評価の方法	定期試験 100%				
テキスト	使用しません。				
参考図書	適宜、紹介します。				
備 考	特に、ありません。				

授 業 計 画

第1回 幕開（まくあき）

第2回 春の季（初春の節）について

第3回 春の季（仲春の節）について

第4回 春の季（晩春の節）について

第5回 夏の季（初夏の節）について

第6回 夏の季（仲夏の節）について

第7回 夏の季（晩夏の節）について

第8回 幕間（まくあい）

第9回 秋の季（初秋の節）について

第10回 秋の季（仲秋の節）について

第11回 秋の季（晩秋の節）について

第12回 冬の季（初冬の節）について

第13回 冬の季（仲冬の節）について

第14回 冬の季（晩冬の節）について

第15回 幕切れ（まくぎれ）

定期試験